



ヘルケアフードの明日を考える
日清医療食品株式会社

日清医療食品株式会社 中国支店
管理部 スーパーバイザー 高野 洋

五十周年記念ケーキ

この度、日清医療食品株式会社は創立五十周年を迎えました。日頃の感謝を込めまして、毎月さまざまなご提案をさせていただ

いております。その中の一つとして、患者様・職員様に五十周年記念ケーキを提供させていただきました。患者さま・職員さまも大変喜んでいただけた様で嬉しく思います。

「季節のフルーツ」「スイーツコレクション」

五十周年記念ケーキだけではなく、患者さまに喜ばれる食事を目指し、毎月「季節のフルーツ」もしくは「スイーツコレクション」と題して旬の果物やスイーツを提供してご好評をいただいております。

ナカムラ病院さまの厨房運営を始めてから、約三十年のお付き合いをさせていただいております。

当社が五十周年を迎えられた事に関しては、ナカムラ病院さまとのお付き合いの中でお力添えいただいた事も大変感謝しております。今後も患者さまに寄り添った喜

ばれるお食事、美味しいお食事の提供を行ってまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



※五十周年記念ロゴ



※五十周年ケーキ



※肥後グリーン



※アイス



※敬老の日 ムース食



※敬老の日 御弁当



▲村川セキノさま(103歳)

今回の「長寿の秘訣」はひろに入所中の村川セキノさまにお話をうかがいました。



A よう働きしました。きょうだいの子守をさせられよったね。小さいのが背負ってね。百姓を手伝いよった。よいよ脚腰きたえられました。

Q 今日もタオル畳みを手伝ってくださいっていますね。ありがとうございます。昔から働き者でしたか？

A 動くのがどんどんたいぎゅーなるけど、ちよつとは動くこと。出来ることなり、やらしてもらいますよ。

Q 長生きの秘訣は何でしょう？



▲タオルを綺麗に畳んで積み上げていらしゃいました。

Q 読者のかたに一言お願いします。

A 人生長いからねー。みなさんに感謝、感謝。



▲掲示スペースには、村川さまが作成された季節ごとの作品もたくさん。その中からおめでたい桜の花びらをパシャリ。



ありがとうございます。これからもお体に気を付けてお元気で過ごしてください。



▲リハビリ場面も拝見。確かに強い脚腰をお持ちです。

陽光ふぁみりー

事業継続計画 (BCP) について

昨今のコロナウイルス感染や、自然災害の為、高齢者が自宅で必要な介護サービスを受ける事が出来なくなる事が増えています。私達介護支援専門員は、そのような状態でも、高齢者が必要なサービスを受け、地域で生活ができるように支援を行わなければなりません。

そのための方針、体制、手順などを示した業務継続計画 (BCP) の作成が求められました。

この夏の感染拡大は、当居宅介護支援事業所にも大きな影響がありました。併設の事業所の感染拡大、利用者、家族が感染、濃厚接触者となったため、利用者宅への訪問を控え電話でのモニタリング、健康状態の確認、食事の確保、関係者へ協力の依頼、介護、医療サービス事業所へ連絡を行いました。感染拡大を防止するようにしました。

しかし、利用者家族からは、介護サービスの利用が出来ず、介護負担が増えている、自宅に一人残した高齢者を心配する家族の声、介護支援専門員からは、見えない利用者へのアセスメント、モニタリングを行う事のもどかしさを多く聞きました。

事業継続計画 (BCP) 作成は始まったばかりではありますが、事業所内で検討しながら、実行可能な物に仕上げていきたいと考えています。

陽光の居宅介護支援事業所

徳毛 新太郎

栄養のお話

食事にムセることがある、飲み込むのに苦労することがあるなどの症状がある場合、食べる機能が低下しているかもしれません。

放っておくと、栄養や水分が不足して体力の低下につながります。

◇食べやすくする工夫

- ①かたいもの→煮込む・蒸す・つぶすなどの調理でやわらかくする。
- ②サラサラした液体→トロミ剤でトロミをつける。
- ③バラバラするもの→卵や小麦粉などのつなぎやマヨネーズなどでまとめる。



市販のレトルト食品や缶詰・介護用のレトルト食品なども上手に活用してみましょう。

栄養科長 長村 悦子

つばいこぼれ話



いつもと違う雰囲気皆さんとても喜ばれ小食の方もしっかり完食。台風接近であいにくの空模様でしたが、ホームの中は笑顔あふれる一日でした。

グループホーム つばい
介護主任 斉藤 ひでみ

敬老の日によせて、つばいでは今年も職員手作りの御馳走でお祝いしました。
赤飯、天ぷら、酢の物、紅白蒲鉾、季節の果物を重箱に詰め、手作りのカードと千代紙で折った箸袋を添えました。



学会発表で表彰されました

令和四年十月八日、第十回広島県精神病院協会学会で看護主任の宮本紫織さんと看護師の頃末沙知子さんが看護研究『認知症患者の活動性の違いによる手指汚染度の検証』の発表を行い、優秀賞を受賞しました。

ご家族、職員のメンタルヘルスの重要性も再認識しました。今後も職員が学びを深め、看護の質の向上につながる研究に取り組んでいけるような職場環境にしていきたいと思えます。

ナカムラ病院
看護部長 撰
敬子

この研究は、認知症患者さんの手指の汚染度を調査し、どの場面で手指消毒が最も必要で感染症リスクを回避できるかを明らかにした研究内容です。二人が業務で多忙な中、職員の協力もあり研究時間を確保することができました。

現在、新型コロナウイルス感染症による各病院、施設での感染症に関わる対応や苦慮している研究発表は大変興味深く、患者さま、



いきいき行事だより

認知症棟 B5

浴衣を着て写真撮影

アイスクリームを食べて、夏を感じていただきました。
浴衣を羽織ると恥ずかしそうにされていましたが、自然と出る笑顔が素敵でした。



まいえ2

お月見うさぎとジャンケンポン!

楽しいお月見会になりました!



紙面de

認知症カフェだより

サロン・ド・ファミーユ

認知症予防体操

認知症予防に効果があると言われているデュアルタスク（二重課題）をご紹介します。今回は皆さんになじみのある歌を使った体操です。

もしかめ体操

難易度★ 「うさぎとかめ」を歌いながら①～④の動きを繰り返す

もし



1

もし



2

かめ



3

よ



4

繰り返し
...

難易度★★ 足踏みをしながら①～④の動きを繰り返す

♪うさぎとかめ♪

もしもし かめよ かめさんよ
せかいのうちに おまえほど
あゆみの のろい ものはない
どうして そんなに のろいのか

みなさん、楽しくできましたか？
二つ以上の動作を同時にこなすことで、
実は無意識に脳のさまざまな部分を
働かせています。“運動しながら
おしゃべりする”なども効果的です！
積極的に色々なことに挑戦してみましょう♪



認知症カフェを10月から出張型として再開いたしました！
次回は1/25（水）13：00～河内公民館で開催予定です。

お月見会

ひいろB4
の活動



十月二十日、ひいろB4で『お月見会』を行いました。秋をテーマに紅葉や月見団子といった手作りの飾りつけをホールに並べ、利用者さまに季節を感じていただけたのではないかと思います。皆で歌い、美味しいおやつをいただき、普段とは違う雰囲気喜ばれる利用者さまの顔をスタッフ一同とても嬉しく思いました。

新型コロナウイルス対応の中でも、いきいき委員会を中心にリハビリテーション科、栄養科と協力して、少しずつ準備を進めました。無事に開催できて、日常が戻ってきたことを皆で喜ぶことができました。これからも通常の業務はもちろん、季節の行事を通して利用者サービスの質向上に努めていきたいと思えます。

介護医療院ひいろB4

療養棟科長 山根 孝之



あゆみだより

今回は、「あゆみ」に投句していた
だいた作品の中から、少しではあり
ますが、皆様に紹介させていただきます。
ます。

● 万花咲き 心がなごむ 春が来る／ヒロエ

● つれづれに 島か岬か、岬か島 今日も瀬戸見て吾思う

空美しく晴れ 幸せを呼ぶ／青い帽子

● 春筍は 犀の角ほど 曲がりをり／勲夫

● 秋の空 爽やかな心 詠んでみたり／千里

● 敬老の日は 九十六と 七か月

めざせ百歳 後いくつ寝る／清人

● 紅梅の 色鮮やかな 冬日和／尚

「あゆみ」は、皆さまから寄せられた短歌や俳句を集め、一月、四月、七月、十月の年四回発行しており、各病棟に掲示してあります。患者さま、入所者さま、利用者さまはもちろん、ご家族さまからの句もお待ちしておりますので、

素敵な一句ができましたら、ぜひお近くのリハビリスタッフまで教えてください。ご意見箱からの投句も可能ですので、ご利用ください。

リハビリテーション科

作業療法士 新中 浩司

